



ピース・ウイング長崎 情報 BOX

(No. 286 2025年2月発行)

公益財団法人 長崎平和推進協会
〒852-8117 長崎市平野町 7-8
TEL : 095-844-9922
<https://www.peace-wing-n.or.jp>



「ノーベル平和賞」受賞記念 2つの企画展 開催中

長崎原爆資料館

日本被団協ノーベル平和賞受賞記念展



被爆者救済や核兵器廃絶を求め活動してきた日本原水爆被害者団体協議会（被団協）のこれまでの歩みを紹介する企画展が、地下2階・円形パビリオンで開催されています。

写真パネルなど約30点が展示され、1956年の結成宣言をはじめ、核兵器禁止条約の成立経緯などを振り返っています。



12月にノルウェー・オスロで開かれた授賞式で贈られたメダルと賞状の公式レプリカも初めて一般公開されています。

国立長崎原爆死没者

追悼平和祈念館

「体験記が伝える 被爆者の思い」



被団協で核兵器廃絶運動をけん引してきた長崎の被爆者らを紹介する特別企画展を、地下2階・交流ラウンジで開催しています。

主に紹介するのは渡辺千恵子さん、山口仙二さん、谷口稜暉さんの3人で、被爆体験記や関連図書約60冊を読むことができます。

会場では、英語の字幕が入った3人の被爆証言ビデオも上映されており被爆の実相や世界平和への思いを伝えます。



詳しくはこちら

いずれも観覧無料 3月28日(金)まで

～日本被団協ノーベル平和賞受賞記念～
長崎平和フォーラム

日本被団協のノーベル平和賞受賞を県民に報告し、被爆80年の取り組みを語り合う「長崎平和フォーラム」を被団協加盟の長崎原爆被災者協議会の主催で開催します。

<特別協力> 長崎平和推進協会

3月8日(土) 14:00～16:30

ベネックス長崎ブリックホール 国際会議場

- ノーベル賞授賞式でオスロを訪問した一行の映像 ●基調講演(長崎被災協・田中重光会長)
- 谷口稜暉さん映像 ●パネルディスカッション「平和へ ノーベル賞受賞の意義と被爆80年」

※参加は無料ですが聴講券が必要です(定員300人)

ハガキ、ファックス、メールに ①郵便番号、②住所、③氏名、④年齢、⑤職業、⑥電話番号を明記してご応募ください <<2月25日(火) 必着>>

〒852-8601(住所不要)長崎新聞社事業部「長崎平和フォーラム」係 FAX:095(844)5885

E-mail:j-forum@nagasaki-np.co.jp

【問い合わせ】長崎新聞社事業部 TEL:095(844)5261

国際交流のつどい

朗読会 9日を忘れない

2月のつどいは、2部構成で行います。入場無料・事前申込み不要ですので、お気軽にご参加ください。

朗読ボランティア「被爆体験を語り継ぐ 永遠(とわ)の会」は、8月9日を忘れないため毎月9日に被爆体験記を朗読しています。

■日時

2月8日(土) 9:30～11:30

■場所

追悼平和祈念館 地下2階 交流ラウンジ

■交流証言者による英語講話(9:30～10:00)

証言者 田平由布子

※吉田勲さんの被爆体験を英語でお話します

■国際交流のつどい(10:00～11:30)

講師 小田智子(国際協力推進員・JICAデスク長崎)

演題 JICA海外協力隊がつなぐ平和

言語 日本語(英語への逐次通訳あり)

2月は、一家そろっての幸せな生活が原爆で一瞬にして壊されていった現実。平和への願いを込めて伝える言葉を朗読します。

若者朗読サポーター(U-25)がMCを務めます。

日時:2月9日(日) 11:02～11:30

場所:追悼平和祈念館 地下2階 交流ラウンジ

朗読者:平林智子・橋本あやり MC:岩永陽美

